

# 函館の都市景観とまちづくり

= 街づくり市民活動をとおして =

山本真也

## 1. はじめに

函館を象徴し、函館市民の精神的な支えともなっている代表的な環境として、函館山の自然環境と西部地区の歴史的環境をあげることができる。函館における街づくりに対する市民活動も、この二つの代表的な環境を保全しようとするところから始まっている。

1971年、函館山周遊道路建設問題をひとつの契機として「南北海道自然保護協会」が設立され、以降、函館山の保護を中心とした自然環境の保全を求める活動が展開されて多くの成果をあげてきた。函館山が現在も自然の宝庫であり続けるのも、このような市民活動が背景としてあったことといえる。

## 2. 函館の歴史的環境に関する市民活動と行政

歴史的環境を題材とした市民活動は、自然保護の分野から少し遅れて始まる。1978年、旧北海道庁函館支庁庁舎の移転問題(現在、元町公園内で保存)に端を発して市民団体「函館の歴史的環境を守る会」が発足し、以来、非常に広範な学習活動や啓蒙活動を現在まで続けている。そして、この団体の活動を中心として西部地区の歴史的環境に対する意識が高まるにつれ、市民の間では歴史的な建造物を再生・再利用する活動、地区内での各種イベントの開催、歴史にちなんだ花いっぱい運動やハウスウォッチング運動などと、非常に多彩な活動が展開された。

行政もこれらの市民活動に触発され、後押しされるかたちで、1988年、「函館市西部地区歴史的環境条例」(現、函館市都市景観条例)を制定し、歴史的環境の保全に努めることとなる。

## 3. 企画・実践型街づくり市民活動の展開

近年の函館における歴史的環境に関する街づくり市民活動に特徴的なことは、旧来の要求運動や反対運動から、自ら企画し実践する活動あるいは提案型の活動へと大きく転換してきていることだ。もちろん、高層マンション建設問題(1990)や借上市営住宅建設問題(2000)などの個別の事象については、街づくりに関心を持つ市民としての反対運動や要求運動も展開されているが、日常的な市民活動は、自らの発想を自ら実践し、あるいは行政などへ提案する活動へと移行してきている。市民の街づくりにおける新たな主体性の萌芽である。

例えば、特別史跡五稜郭跡を舞台に街の歴史を市民が演じる「市民創作函館野外劇」(1988~)、五稜郭跡のイルミネーションによる夜間演出「五

稜星(ほし)の夢」(1989~)、市民総参加で夜景を豊かに輝かせようとする「函館・夜景の日」(1991~2000)、西部地区の街を飲み歩く「バル街」(2004~)と、街をステージとして、市民が発案し自ら実践するイベントが相次いで誕生した。また、往年のチンチン電車の復元・動態保存を実現した「チンチン電車を走らせよう会」(1988~)、西部地区における空家・空地対策をはじめ広範な事業展開をめざす「はこだて街なかプロジェクト」(2003~)などと、企画・提案型の市民活動も生まれ、具体的成果もあげている。さらにいえば、「元町倶楽部」の色彩研究活動(1988~1991)、まちづくり公益信託の設定(1993~)、それによる町並みペンキ塗り替え活動(1990~)なども企画・実践型の市民活動である。

## 4. まもる活動からそだて、つくる活動へ

このような市民活動に共通しているのは、自らの街を自ら再認識・再発見し、より豊かな街をつくろうとしている点だが、それはいずれも街への強い愛着と街づくりへの主体的な参画意識に裏打ちされている。そしてこれらの市民活動をとおして、函館の市民は、手のとどかなくなりつつあった自分たちの街を徐々に手元に引き戻しつつあるようだ。

また、このような市民活動は突然表れてきた訳ではない。前述の函館山の自然環境と西部地区の歴史的環境という二つの代表的な環境の保全を軸とした先駆的活動が繰り広げてきた市民への意識啓発が、30年前後を経過した今、広範な街づくり市民活動をもたらしているといえる。

市民の手のとどかないところから押し寄せる開発の波から大切な環境を“まもる”活動が、もう一度街を市民の手のとどく位置に引き寄せ自らの手で“そだて、つくる”活動を醸成してきたといえるのだ。

## 5. 自分たちの街、だから函館の街は面白い

元来、街は市民のものだ。そしてその街は、市民の暮らしの変化とともに姿を変えていく。しかし、その街の変貌に、一人ひとりの市民が深く関われない社会になってきている。

そのような時代にあって函館の市民は、自らの街の大切な環境をまもる活動から始め、次第に自らつくる活動へと移行しながら“自分たちの街”を取り戻そうとしていると受け止められるのだ。しかも街を楽しみながら。

函館の市民は、自らの街を楽しむのが上手だ。だから、函館の街は面白い。



01都市計画図[転写].jpg



02箱館真景(1868)[転写].jpg



03函館港から.jpg



04函館山から(昼景).jpg



05函館山から(夜景).jpg



06基坂下.jpg



07元町公園.jpg



08港が丘通り.jpg



09教会群.jpg



10教会と瓦屋根.jpg



11大三坂上.jpg



12金森倉庫群(M42).jpg



13函館ビアホール.jpg



14大三坂(以前).jpg



15多様な様式の町並み.jpg



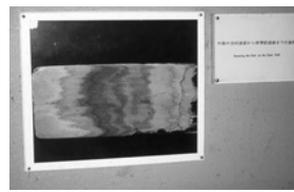
16和洋折衷様式.jpg



17旧函館区公会堂  
(M43).jpg



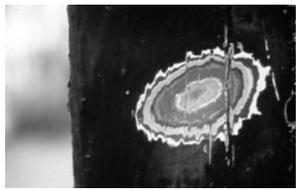
18同(以前)[転写].jpg



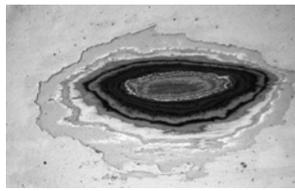
19公会堂の色の変遷.jpg



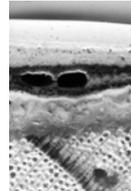
20旧大町郵便局(M44).jpg



21同時層色環(柱).jpg



22同時層色環(壁).jpg



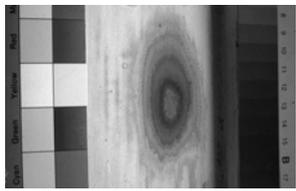
23同顕微鏡写真(壁).jpg



24こすり出し調査(1988・  
89).jpg



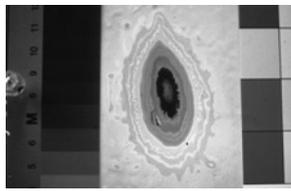
25遺愛幼稚園(T2).jpg



26同時層色環(壁).jpg



27遺愛女子高等学校  
(M41).jpg



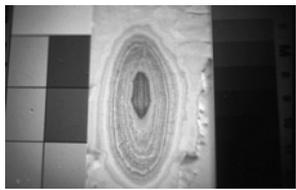
28同時層色環(壁).jpg



29同(創建時の写真)[転  
写].jpg



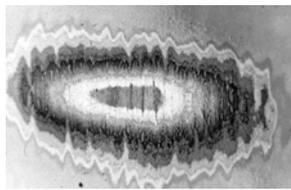
30同旧宣教師館(M41).jpg



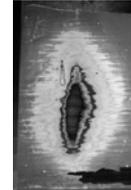
31同時層色環(壁).jpg



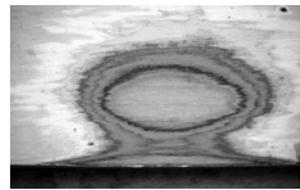
32相馬株式会社(T2).jpg



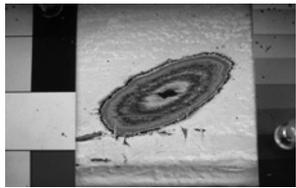
33同時層色環(壁).jpg



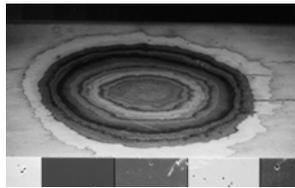
34時層色環①.jpg



35時層色環②.jpg



36時層色環③.jpg



37時層色環④.jpg



38塗り替え実験(1990).jpg



39加藤家住宅(T2).jpg



40同塗り替え(1990).jpg



41同塗り替え(2002).jpg



42塗り替え風景①.jpg



43事例①(前).jpg



44同①(塗り替え後).jpg



45事例②(前).jpg



46同②(塗り替え後).jpg



47事例③(前).jpg



48同③(塗り替え後).jpg



49事例④(前).jpg



50同④(塗り替え後).jpg



51事例⑤(前).jpg



52同⑤(塗り替え後).jpg



53塗り替え風景②.jpg



54塗り替え風景③.jpg



55塗り替え風景④.jpg



56谷地頭風景(2006).jpg



57市中屋餅店(前).jpg



58同(塗り替え後).JPG



593軒連続(前).jpg



60同①(塗り替え後).JPG



613軒連続②(前).jpg



62同②(塗り替え後).jpg



63塗り替え風景⑤.jpg



64バル街①(2004～)[転写].jpg



65バル街②(2004～)[転写].jpg



66チンチン電車(1993～).jpg



67野外劇(1988～)[転写].jpg



68桜が丘通り.jpg